

第4学年



学びのカテゴリー「動物」

第3学年では、花の生命の美しさや尊さを実感してきた。そんな児童だからこそ、飼育動物に対する生命の重みと育てることへの責任を強く感じることができると思う。第4学年では、飼育活動を通して見えてきた問題の解決を目指して、今まで以上に飼育動物と関わったり、その動物を支える人と出会い、対話をしたりする中で、動物の幸せを考え、自分はどうすべきかを探究していく。

下川 舞子
干場 康平
岩田 尚之

第4学年2組 年間指導計画 「学びの 카테고리」：動物 (全105時間)

4年生の目標	(1) 問題解決力に関わって		動物や人との関わりを通して出会った問いをもとに、自分や仲間、動物たちが幸せに生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		飼育動物の幸せのために行う様々な活動を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを筋道立てて伝えたりしながら、対立やジレンマに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		飼育活動や様々な人との交流を通して、自分の長所や動物に対する願いに気づき、自分や仲間、動物たちを幸せにする方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	第3学年では、花の生命の美しさや尊さを実感してきた。そんな児童だからこそ、飼育動物に対する生命の重みと育てることへの責任を強く感じることができると考える。第4学年では、飼育活動を通して見えてきた問題の解決を目指して、今まで以上に飼育動物と関わったり、その動物を支える人と出会い、対話をしたりする中で、動物の幸せを考え、自分はどうすべきかを探究していく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	○生命の尊さ、自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・公共の精神 ・正直、誠実 ・親切、思いやり ・相互理解、寛容 ・希望と勇氣、努力と強い意志												
学びを構成する要素	飼育 生命 達成感 幸せ 笑顔 病気 死 誕生 性格 個性 食物 体験 動物園 かわいい ペット ふれあい 環境 かかわり方 安全 仲間												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	動物の幸せを考えた飼育を目指して (35時間) ～げんき・みらいに自分ができごと～					みらいとげんきのみ力を伝えよう (40時間) ～ニワトリ動物園をつくろう～				動物の命をつなぐ(30時間) ～げんきとみらいの未来を考える～			
主な学習活動	○春休みの間に、体調が悪くなったニワトリの話を聞く。 ○飼育活動を体験して感じたことや、気になっていることを交流する。 ○チームを作って動物の様子を観察し、動物の性格や好きな食べ物・遊びなどを知る。 ○動物への関わり方や環境など、動物が幸せにくらすためによりよい方法を考える。 ○岐阜農林高校の方から話を聞いて、現在の環境や関わり方について見つめ直し、計画したことが動物にとって本当に幸せなのか再検討する。					添 詳 飼 っ し 育 て く 活 世 観 動 話 察 を し 継 た り し り 動 動 す 物 物 の の 気 様 持 子 ち を に さ 寄 ら り に	○岐阜農林高校の飼育動物と触れ合う活動を通して、動物の魅力を感じる。 ○人と動物との関わりを様々な視点で見つめていく。 ○動物と関わる人との対話を通して、動物と人とのつながりについて見直していく。 ○飼育している動物が与えてくれる力を校内の人たちに発信していくプロジェクト活動を行う。				○飼育の引継ぎ会の計画を立てる。 ○引継ぎ会の実施と見届け活動を行う。 ○動物たちとの別れに向けて、動物たちのためにしてあげたいことを考え、実行する。 ○今年度の学びを振り返り、キャリアパスポートに記入する。		
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	■調べた方法でやってみるが、飼育が上手くできているのか分からない。 ●自分達が動物の様子を見て実践しようとしていることは、本当に動物にとって幸せなのか葛藤する。 【生命の尊さ・自然愛護・努力と強い意志・思いやりなど】						■飼育するニワトリについて情報を収集し、共有することを通して、ただニワトリの魅力伝えるだけでは、全校児童生徒とニワトリの距離は埋められないと実感する。 ●ニワトリのストレスがからまないよう自然体を見せよう展示活動を行うのか、それとももっとニワトリを知ってもらうために体験活動を行うのか葛藤する。 【生命の尊さ・自然愛護・努力と強い意志・思いやりなど】				■飼育する動物について、様々な価値観をもつ全校児童生徒に対して、自分たちの思いや考えを伝えることができず、つまずく。(全校発信プロジェクト) ●3年生に楽しく達成感のある活動をメインに伝えていくべきか、苦しいことや大変なことも時間をかけて伝えていくべきか葛藤する。(引き継ぎプロジェクト) 【生命の尊さ・自然愛護・努力と強い意志・よりよい学校生活、集団生活の充実・よりよく生きる喜びなど】		
人材活用施設	・獣医師 ・岐阜農林高等学校						・岐阜農林高等学校 ・動物園 ・アニマルセラピー ・岐阜大学応用生物学部獣医学科				・岐阜農林高等学校 ・ここまでに出会った方々		
教科等との関連	・国語：メモ(話す・聞く) お礼の手紙(書くこと) ・理科：生き物と気温(春・夏) ・算数：折れ線グラフと表 ・社会：すみよくらしをつくる(水・ゴミ) ・特別活動(飼育活動)					・国語：パンフレットを読む(読むこと) わかったことをまとめる(書くこと) ・理科：生き物と気温(秋)(冬) 動物の体とつくり ・算数：およその数を調べよう ・図工：ひみつのすみか(立体)				・国語：新聞を書く(書くこと) ・図工：カードで伝える気持ち(工作) 忘れられない気持ち(絵画) ・理科：生き物の一年を振り返って			

単元名 「みらいとげんきのみ力を伝えよう」 ～ニワトリ動物園をつくらう～ (40)	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
	よりよい動物園づくりを目指す中で起こる問題を発見し、全校児童生徒と飼育動物が共生していくために考え、判断し、行動し続けることができるようにする。	全校児童生徒と飼育動物が共生できる動物園づくりを目指す中で、起こり得る対立やジレンマを対処していくために他者の思いや考え、動物の立場に寄り添い、分かち合うことができるようにする。	動物園づくりを通して、全校児童生徒と飼育動物が共生できる学校づくりを目指して、自分ができることは何かを見付けて、行動しようとする態度を養う。

活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> 飼育する前後のニワトリに対する見方や考え方の変容を振り返り共有する。 岐阜農林高等学校に行き、飼育動物を見学する。 「ニワトリの魅力伝える動物園を作ろう」と課題を設定する。(8) 	<ul style="list-style-type: none"> 自らニワトリに関わったり、先輩や先生、岐阜農林の方と対話したりすることを通して、ニワトリの魅力について見付ける。 飼育するニワトリのこれまでの歴史を辿り、ニワトリの大切さについて知る。 動物園づくりに必要なことは何かを調査する。(12) 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育するニワトリの魅力について、学級や岐阜農林の人や先生と共有し、明らかにする。 飼育するニワトリの誕生からここまでの営みやそこに関わってきた人々の思いを学級の仲間と共有する。 動物園づくりについて、ありのままの姿を見せる展示の仕方や触れ合える体験活動等についての活動内容を検討する。(8) 	<ul style="list-style-type: none"> 「ニワトリ動物園」に必要な看板や道具を作成したり、動物園の開催に向けた放送をおこなったりする等の準備を行う。 「ニワトリ動物園」を開き、全校の児童生徒を招いて学級で決めた活動を実施する。 実際に「ニワトリ動物園」を開催している中で、自分たちのこれまでの営みを振り返り成果と課題を明らかにする。(12)
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 飼育する前や初めの頃は、ニワトリに対してこわくて近づけないイメージがあったが、飼育を通して、みらいやげんきも個性があることを知り、より愛しくなっている。 岐阜農林高等学校の生徒から、飼育する動物は人に幸せを与える魅力があることを教えてもらい、体験と共に実感する。 岐阜農林高等学校での見学をもとに、仲間と交流する中で、飼育するニワトリの魅力伝える動物園を作ろうと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知らなかったニワトリの魅力について知ることができたり、新たな見方や考え方で飼育する動物と関わったりしている。 先輩や卒業生にニワトリについてインタビューをすることを通して、現在飼育しているニワトリの人生について知ろうとしている。 動物園づくりに必要な見方や考え方について知りたいと考え、動物園の職員や岐阜農林の人に話を聞くためのアボを取り、インタビューをする。 ここまで集めた情報を整理して、動物園づくりに必要な活動内容を決めていく必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ニワトリの魅力について考えると、それは自分たちが関わっているからこそ感じる魅力であると気付く、来園する児童生徒がその魅力を感じるためには、何が必要なのかを考えている。 飼育するニワトリの歴史を知ることを通して、改めて生命の尊さを感じ、全校児童生徒に大切に思ってもらえるような動物園の活動がしたい。 全校児童生徒に体験活動をすることで喜んでもらう動物園にするのか、そのままの姿を見せるべきなのか学級の中で意識が違うため、活動内容を決めなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童生徒が「ニワトリ動物園」に興味・関心をもてるように、看板を作成したり、放送で宣伝したりしようとしている。 「ニワトリ動物園」を行う目的を基に、必要な道具を学級の仲間と力を合わせて作成している。 「ニワトリ動物園」を実施し、全校児童生徒の動物への接し方や思いを知ることを通して、自分たちとの意識のズレに気付く。 「ニワトリ動物園」の活動を通して、全校児童生徒と飼育動物が共生していくために新たな課題を設定しようとしている。
実際の姿				

■飼育するニワトリについて情報を収集し、共有することを通して、ただニワトリの魅力伝えるだけでは、全校児童生徒とニワトリの距離は埋められないと実感する。

●ニワトリのストレスがかからないよう自然体を見てもらう展示活動を行うのか、それとももっとニワトリを知ってもらうために体験活動を行うのか葛藤する。

(1) 目標

全校の児童生徒と飼育する動物が共生できる学校づくりを目指した「にわとり動物園」の活動内容について、多くの児童生徒に飼育するニワトリの自然体の姿を知ってもらうためにありのままの姿を見せる展示を行うべきか、ニワトリたちと楽しく触れ合う体験活動を行うべきか議論する中で、飼育するニワトリたちはこれまで多くの人によって支えられ生きてきた大切な存在であることに気付き、飼育する動物の本当の幸せとは何かを考え、判断し、活動内容を決めていくことができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

飼育するニワトリが多くの人々の支えによって守り育まれてきた大切な存在であること、一生懸命に生きているニワトリの命を大切にしなければならないことを踏まえて考え、議論する。 本時 (24/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される子供の言動)	教師の手立てと見届け
<p>1 本時の課題を設定する</p> <p>○「みなさんは今日どんなことをするべきだと考えていますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、動物園の活動内容をどうするのかをそれぞれが考えているから出し合って決めたい。 私は、学校にいるたくさんの人にニワトリのことを知ってもらいたいから、ありのままの姿を見せて説明したい。 僕は、ありのままの姿よりも、実際にニワトリと触れ合う体験があった方が全校のみんなは楽しくて良いと思う。 <p>ニワトリ動物園は、みらいやげんきのありのままの姿を見せるべきか、触れ合える体験活動をしていくべきなのかについて話し合おう。</p> <p>2 にわとり動物園の活動内容について考え・議論する</p> <p>○「どうしてありのままの姿を見せて説明していくべきなのか、どうして触れ合う体験活動をしていくべきなのか、自分の思いや考えを話し合ひましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ニワトリたちは、今も一生懸命に生きている。これまでの関わりの中で、私たちはもっとニワトリの立場になって考えなければいけないと、芝生を下に敷くのをやめて、砂を運ぶなど環境をつくってきた。だからニワトリのことを一番に考えて、ありのままの姿を見せる展示が良いと思う。 僕は、ありのままの姿を大事にすることも必要だと思うけれど、それだけでは今と何も変わらない気がする。もっとニワトリに興味をもってもらうためにも、一緒に散歩したり、餌をあげたりする体験活動をした方が良い。 ニワトリたちはこれまで多くの人によって飼育されてきた大切な存在だ。ある先輩の〇〇さんは、ニワトリのことをみんなが知って、小屋の水分がたりないときや体調の異変に気付いたら行動してくれる人が増えるとみんなでニワトリのことを大事にできると話してくれた。 ニワトリの命が続くこと、ニワトリにとって気持ちい生活が送れることを一番に、全校のみんながニワトリに興味をもって、自分のこととして考えてもらえるように活動内容を工夫することが大事だ。 ニワトリに興味をもってもらえるありのままの展示の仕方や、ニワトリが気持ちよく過ごせる体験活動を工夫していければ、どちらもできるのではないかな。 <p>3 にわとり動物園の活動内容を具体的に考える</p> <p>○「それでは、ここまでみなさんと話し合ってきたことで、活動内容を定める上で大切にしたいことが見えてきました。そのことを基に、にわとり動物園の活動内容の案を考えていきましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ニワトリの特徴である鳴き声をありのままの姿で聞いてもらうには、どんなときに鳴くのか環境について調べていく必要があると考え、本やインターネットで調べたり、聞きたい人をリストアップしたりするなど、行動に移す。 体験活動をしたい仲間と協働して、ニワトリにストレスがかからない方法を考えていく姿がある。 <p>4 本時の学びを振り返る</p> <p>○「動物園の活動内容についてこれから自分がしたいこと、すべきだと考えていることを書きまとめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、これまで(ニワトリの)げんきやみらいにストレスがかからないようにありのままの姿だけを見てもらう行動展示をするべきだと思っていた。でも、もっと全校のみんながニワトリのことに興味をもって知ってもらうことは、(ニワトリの)げんきやみらいの生命をみんなで守っていくことにつながるということが分かったから、ありのままの展示でも、鳴き声を聞いてもらえたり、砂で遊んだりする姿を見てもらえる環境を考えていきたい。 	<p>○道徳的諸価値について考え、議論できるように以下のような視点でファシリテートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような目的で「にわとり動物園」を開こうとしているのかを意識できるように探究テーマに立ち返ることができるようにする。 行動展示と体験活動のそれぞれのよさや課題を明らかにして板書に位置付けていく。 本校の先輩や岐阜農林の方、飼育員の方から学んできたことから、動物園づくりで大切にしなければならないこと(道徳的価値)は何かを明らかにして板書に位置付ける。 ○道徳的諸価値を基にした実現可能な活動内容を考えていくことができるように、個や小集団に対して、以下のような視点でコーディネートする。 行動展示がニワトリの特徴や魅力が伝わるようなものになっているのか、体験活動がニワトリのストレスとならないものになっているのか質問し、活動内容を見直すきっかけをつくる。 考えた活動内容が実現可能かどうかや、実現するために何が必要なのか疑問を投げかけ、活動内容を具体的に考えるきっかけをつくる。 <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>飼育するニワトリの本当の幸せとは何かを考え判断し活動内容を決めている。(問題解決力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値に基づき、活動内容について自分の思いや考えをもち判断を行っているのかを、議論中は発言内容やワークシートのメモの内容、議論後は活動の様子やインタビューを通して、または振り返りの記述内容で見届ける。